

鐵と鋼 第 19 年 第 11 號 論說「窒素硬化鋼材の研究」

著者 伊 丹 榮 一 郎
高 尾 善 一 郎

正 誤 表

頁	行	誤	正
872 頁	右段 1 行目	$\alpha + \gamma$	$\alpha + \gamma'$
873 頁	左段 21 行目	靱□を示す	靱性を示す
875 頁	右段 11 行目	366 鋼は元より	366 鋼は之より
877 頁	左段下より 4 行目	其	其
880 頁	左段 16 行目	11 種の鋼に就て實證した	11 種の鋼に就て實驗した
880 頁	右段	第20圖左方の圖の肩に (1) を入れる	
883 頁	右段 最終行	衝撃は略半減	衝撃値は略半減
886 頁	右段 18 行目	僅に底下する	僅かに低下する
886 頁	右段 20 行目	可成りの底下	可成りの低下
890 頁	左段 5 行目	よりの質疑は本會第十回講演大會にて伊丹氏の「耐熱性アルミニウム合金」に就てのものにして本題に關係なき故取消こと	
891 頁	寫眞 No. 16	は上下轉倒せる故訂正す	